

秩父 市議会だより

第26号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (72) 2122
FAX (77) 1010
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



「下郷学童保育室」

いつも、明るく、元気な下郷学童です。

(現在44名の仲間たちが、いっしょに過ごしています。)

今、一輪車がちょっとしたブームになっています。

9月 定例会

審議した議案等の結果

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民 ク	彩 政 会	共 産 党	公 明 党	新 風	無 会 派
第 44 号	専決処分について（秩父市税条例等の一部を改正する条例） 地方税法改正による条文整理	承認	○	○	○	○	○	○
第 45 号	専決処分について（秩父市都市計画税条例の一部を改正する条例） 地方税法改正に伴う条文整理	承認	○	○	○	○	○	○
第 46 号	平成22年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	○	○
第 47 号	平成22年度秩父市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	○	○
第 48 号	平成22年度秩父市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 49 号	平成22年度秩父市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	○	○
第 50 号	平成22年度秩父市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	○	○
第 51 号	平成22年度秩父市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 52 号	平成22年度秩父市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 53 号	平成22年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 54 号	平成22年度秩父市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 55 号	平成22年度秩父市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 56 号	平成22年度秩父市水道事業決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 57 号	平成22年度秩父市立病院事業決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○
第 58 号	市道の認定について 中央638号線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 59 号	市道の路線変更について 影森140号線の路線変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 60 号	工事請負契約の締結について 秩父市立尾田蔭小学校校舎改築工事	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 61 号	横瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（4項目）及び変更（2項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 62 号	皆野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（1項目）及び変更（1項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 63 号	長瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（2項目）及び変更（1項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 64 号	小鹿野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（6項目）及び変更（2項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 65 号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について 市町村合併（川口市、鳩ヶ谷市）による構成団体の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 66 号	秩父市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴う支給対象の拡大	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 67 号	平成23年度秩父市一般会計補正予算（第2回） 道路事業費等の補正及び繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 68 号	平成23年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算（第1回） 医療費確定に伴う精算等の予算措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 69 号	平成23年度秩父市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 70 号	平成23年度秩父市介護保険特別会計補正予算（第1回） 介護給付費確定に伴う精算等の予算措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 71 号	平成23年度秩父市下水道事業特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 72 号	平成23年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 73 号	平成23年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第2回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 74 号	平成23年度秩父市公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○

9月 定例会

審議した議案等の結果

議案番号	件名	結果
第 75 号	平成23年度秩父市駐車場事業特別会計補正予算 (第1回) 繰越金の確定による補正	原案可決
第 76 号	平成23年度秩父市水道事業会計補正予算 (第1回) 配水管の布設工事費の補正	原案可決
第 77 号	秩父市固定資産評価員の選任について	同意
議員提出 第 21 号	拡大生産者責任 (EPR) とデポジット制度の法制化を求める意見書	原案可決
議員提出 第 22 号	産業廃棄物最終処分場建設反対都市宣言に関する決議	原案可決
議 請 第 6 号	秩父市が「産業廃棄物最終処分場建設反対都市宣言」をすることを求める請願 【継続審査となっていた請願、付託先：生活産業委員会】	採択

会派の態度					
市民ク	彩政会	共産党	公明党	新風	無会派
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

市民ク (市民クラブ)	9名	○ 賛成 □ 賛否 <small>※賛成人数/会派人数</small> × 反対
彩政会 (彩 政 会)	7名	
共産党 (日本共産党秩父市議団)	4名	
公明党 (公 明 党)	2名	
新 風 (新 風)	2名	
無会派 (会派に属さない議員)	1名	

請 願

前回の定例会(6月定例会)で継続審査となっていた請願1件が審査され、上記の表のとおり決定しました。

決 議

9月定例会の最終日に、議員提出議案として、都市宣言に関する決議が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。
内容については次のとおりです。

産業廃棄物最終処分場建設
反対都市宣言に関する決議

「宣言文」

秩父市は、過去に市内に建設された産業廃棄物最終処分場における諸問題等を教訓として、市の豊かな自然環境を後世に残し、荒川上流域の自治体としての責務に鑑み、環境への悪影響が懸念される産業廃棄物最終処分場の建設反対都市をここに宣言します。

人事案件

秩父市固定資産評価員の選任について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市固定資産評価員

小澤 初夫 (滝の上町)

意見書

9月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書1件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。
内容については次のとおりです。

拡大生産者責任 (EPR) とデポジット制度の法制化
を求める意見書

容器包装廃棄物の発生抑制、再利用・再資源化を促進し、循環型社会の実現を図るため、OECDが提唱する拡大生産者責任、及びデポジット制度の導入について、積極的に検討し、早期に制度化を図るよう強く要望する。

市議会を傍聴してみませんか

12月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日	程	議 事
11月28日(月)		開会、議案説明
12月1日(木)		議案に対する質疑
5日(月)、6日(火)、7日(水)		一般質問
8日(木)、9日(金)		委員会
13日(火)		委員長報告、採決、閉会

- ※ 議場は、吉田総合支所の3階です。
- ※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は議会事務局へお問い合わせください。
- ※ 委員会の傍聴は、事前に許可が必要です。

各常任委員会の報告

総務委員会

9月定例会で付託された議案11件について報告する。

◆専決処分について(市税条例等の一部を改定する条例)

◆専決処分について(都市計画法条例の一部を改定する条例)

○以上2件は承認

◆22年度一般会計歳入歳出決算について・所管費目

問 決算確定に伴う各指数は。

答 経常収支比率81.0%、公債費比率6.4%、将来負担比率68.1%、実質収支比率10.3%、実質公債費比率8.5%、経常一般財源比率92.3%、である。

※決算書の作り方の問題として、前年度決算との連続性について、何度指摘しても直らないのは、納得できない。市民の家計の状況を見る限り、市民の苦しい現状を見た決算になっていないので、反対する、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆工事請負契約(尾田蒔小学校校舎改築工事)の締結について

○原案のとおり可決

◆横瀬町とのちび定住自立圏形成協定書の変更について

◆皆野町とのちび定住自立圏形成協定書の変更について

◆長瀬町とのちび定住自立圏形成協定書の変更について

○原案のとおり可決

◆小鹿野町とのちび定住自立圏形成協定書の変更について

問 観光公社設立の話があったが、組織が増えれば経費が掛かる。それぞれが自治体で追加の持ち出しがあるのか。

答 観光公社の運営財源としては、あくまでも国からの財源支援を受けられる定住自立圏の包括支援措置分7,500万円の中で調整をし、観光分野に投資して行く。

○以上4件は原案のとおり可決

◆埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規定の変更及び財産処分について

◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改定する条例

○以上2件は原案のとおり可決

◆23年度一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 臨時財政対策債は借りる必要があるのか。

答 現在、庁舎建設に向かって動いており、ある程度の財源を確保する必要があるので、借りられる範囲で計上した。

問 庁舎建設と言っているが、建設自体確定していない中で、予算計上は、いかがなものか。

答 建設が決まってるからでは間にあわないことも考えられるので、今、財源の手当をしているところである。

○原案のとおり可決

建設委員会

9月定例会で付託された議案8件について報告する。

◆22年度一般会計決算の認定・所管費目

歳入についての質疑には、まず「市営住宅使用料」の滞納状況について、「133人、約3,900万円の滞納がある」との説明があった。

歳出についての質疑には、市営住宅を改修して被災者の入居は1世帯だが随時入居が可能である事、森林管理の緊急雇用基金の活用には2名雇用了事、台風災害時には機材や土嚢を準備している担当課の出勤体制が整っている事などの答弁があった。

◆22年度駐車場事業特別会計決算の認定

問 三峰駐車場の工事は、

答 来年度まで4〜5千万円の整備を行い、その後駐車場会計の一般会計化を検討する。

◆22年度水道事業会計決算の認定

地元工場の閉鎖や必要な設備投資が重なり、約4千万円減収したとの説明があり、「石綿管敷設換え」についての質疑には、各地域の詳細な進捗状況の説明と平成32年までに計画を実施したいとの説明があった。

○以上3件は承認

◆市道の認定について、

◆市道の路線変更について
まず該当する道路(影森140号線から秩父病院付近に抜ける道路)の現地視察を行った。質疑に対しては、あと1名の地権者との交渉が難航しているが、代替地を用意して努力したいとの答弁があった。

◆23年度一般会計補正予算(第2回)所管費目

「本町中町通り整備事業」についての質疑に対して、移転補償費は対象が10件、交渉中は12件で事業が進捗しているとの説明があった。また、影森140号線付近の認定される市道の用地買収費用も補正されているとの説明があった。

◆23年度水道事業会計補正予算(第1回)

審議の中で、昨年は老朽化した石綿水道管の破損事故が多かったため、交換工事は計画的に実施していただきたい、との要望が出された。

○以上5件は原案のとおり可決



市道の認定(中央638号線)の現地調査の様子

各常任委員会の報告

生活産業委員会

9月定例会で付託された議案10件、継続審査となっていた請願1件について報告する。

◆22年度一般会計歳入歳出決算の認定について・所管費目

問 永代使用料について新規契約は何区画か。

答 新規契約は合計で83件、その内、市内62件、市外21件。

問 秩父観光機構事務負担金の内

容は。

答 市の職員3名が秩父観光機構の事務を行うことで、事務負担金としていただいている。

問 森林バイオマスふるさと雇用再生基金活用事業で、9人の雇用者があると説明があったが、もつと雇用が大きく生まれるように補助金の要望はできないか。

答 ふるさと雇用を使った雇用人数であり、他にも間伐等を緑の分権改革推進事業等でも実施している

ので森林作業での雇用人数はこれだけではない、本市のバイオマス発電は、山から伐り出した木材

100%で動いているので、森林の再生や多面的な機能の向上、保

水力等の期待から成果をふまえて

要望していきたい。

◆22年度下水道事業特別会計歳入

歳出決算の認定

◆22年度農業集落排水事業特別会

計歳入歳出決算の認定

◆22年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定

◆22年度公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定

○以上5件は認定

◆23年度一般会計補正予算(第2回) 所管費目

問 電気自動車用充電設備とは。

答 電気自動車で秩父に来て、充電して安心して帰れるための設置を考えている。

◆23年度下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆23年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆23年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)

◆23年度公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

○以上5件は原案のとおり可決

〈請願〉

◆秩父市が「産業廃棄物最終処分場建設反対都市宣言」をすること

を求める請願

○採択

※この請願は、平成23年6月定例会において、生活産業委員会に付託され、継続審査となっていた。

文教福祉委員会

9月定例会で付託された議案10件の審査の結果を報告する。

◆22年度一般会計歳入歳出決算について・所管費目

問 緊急時にAEDが使える場所を把握しておくべきでは。

答 AEDが設置されている市の施設の一覧表を作成し市報等でお知らせしていくとともに、市の施設以外に設置してある場所についても可能な限り把握していきたい。

問 星の子教室(障がい等のある未就学児童のデイサービス施設)の利用状況は。

答 月平均人数で、30人前後であり、皆野町、長瀬町、小鹿野町の人も利用している。

※星の子教室は、建物の老朽化が激しいので改善してほしい、との意見が出された。

問 文化財継承事業の地域文化映像記録保存業務の内容は。

答 今まで、荒川の天狗まつり、吉田の貴布祢神社の神楽などの記録映像を撮っており、22年度は三峰の獅子舞を撮った。24年度には、浦山の獅子舞を撮る予定である。

◆22年度国保特別会計決算

○以上2件は挙手多数により認定

◆22年度老人保健特別会計決算

○認定

◆22年度後期高齢者医療特別会計

○認定

決算

◆22年度介護保険特別会計決算

○以上2件は挙手多数により認定

◆22年度市立病院事業決算

○認定

◆23年度一般会計補正予算(第2回) 所管費目

問 保健衛生費の日本脳炎予防接種事業の概要は。

答 17年度から21年度まで、国は積極的勧奨を控えてきたが、新しいワクチンが開発、承認され、22年度からは、3歳児を中心に勧奨の再開をしている。23年の5月に予防接種法が改正され、対象者が20歳未満に拡大されたが、ワクチンが足りず、国は当面9〜10歳を積極的勧奨の対象にしている。ワクチンは1人4回接種しなければならぬため、当市としては、接種期限が迫っている15〜16歳を積極的勧奨対象として接種を実施していききたい。延べ接種対象者数の2,099人に、他の予防接種等の実績等から接種率を換算し調整した結果、対象者を1,530人とし、その人数分を計上した。

◆23年度国保特別会計補正予算(第1回)

◆23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

◆23年度介護保険特別会計補正予算(第1回)

○以上4件は原案のとおり可決

特別委員会報告

議会改革特別委員会

議会の組織・運営等に係る調査、研究として7月13日・8月10日に委員会を開催し、以下の項目を協議した。

【議長からの諮問】

「議案に対する質疑通告制」について協議した。6月議会は実施したが、9月議会については、「決算に関する議案のみ通告制とし、条例等の他の議案については、通告制はとらない」ことが確認された。また「予算に関する議案の通告制については」今後協議する。

○提出にあたっては、本人または代理人でもよい。

○ファックス、メールでの提出でもよい。ただし、担当部局から質問要旨確認のため、通告者に直接聞き取りすることがある。

「一般質問ヒアリング会場の変更」について

ヒアリングに係る職員の移動を考慮し、9月以降当分の間、歴史文化伝承館で実施する。

【視察報告書の作成について】

3月議会において「行政視察の目的、成果をホームページ等に掲載し、説明責任を果たすことに決定した」ことから協議した結果、○視察期間・視察先・調査目的および調査内容等の全体的な概要を委員長が作成する。

○委員長および各委員は、定められた文字数で、所感文を作成し、議長へ提出するとともに、ホームページに掲載する。

○9月以降の視察から実施する。

【本会議の夜間・休日等時間外開催について】

3月議会において「23年度から取り組むケーブルテレビによる本会議全ての中継およびインターネット中継の成果を見極める」ことから協議した結果、テレビ録画中継、またはインターネット録画中継が開始されたことにより、夜間・休日等に開催する必要性がなくなった。との意見が多くをしめ、今後検討しないことが確認された。

【予算特別委員会について】

「決算を審査する委員会があるのであれば予算を審査する委員会があつてしかるべきである。予算の作成、審査に直接かわることで、議員の存在意義を高める大きな要因と思われるので予算特別委員会を設置されたい」ことから今後協議することになった。

【議会基本条例について】

去る7月6日・7日に市民クラブが視察した、北海道白老町および栗山町の議会基本条例の概要説明を行った。10月22日の土曜日に開催が予定されている鶴ヶ島市議会の「議会報告会」の現状を視察することになった。

市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会

本委員会に付託されている市役所本庁舎及び市民会館等建替え調査、研究について報告する。

去る、6月17日、当委員会では東日本大震災後初めて、市役所本庁舎・市民会館に実際に入り、「被害状況」の確認を行った。市役所本庁舎については、4階の柱をはじめとする建物構造本体である梁壁、床に数百箇所を超えるヒビ割れを確認した。

次に、7月27日付で市長から委嘱を受けた「秩父市役所本庁舎等建設市民会議」（以下、市民会議という）30名と本委員会による懇談会を8月23日に伝承館2階ホールで開催した。

この懇談会では、本委員会側からの経過の説明と、市民会議を交えて、「市役所本庁舎、市民会館の現況を視察して思ったこと」、「市民会議で説明を受けて思ったこと」、「将来の市役所本庁舎、市民会館の在るべき姿をどう期待するか」以上の3点をテーマに意見交換を行った。

その中で、市民会議委員からは、両施設が思っていた以上に破損箇所が多かった。震災あるなしにかかわらず老朽化が進んでいるので

建替えるべきである。などの意見が挙げられた。その他にも、旧秩父セメント第一工場跡地利用についての意見も出された。

なお、9月7日の本委員会では、市民会議と行った懇談会の内容等について協議した結果、現時点での調査結果として、当局に再確認の意味も含め①被災度区分判定調査等、被害度合の検証（金額）について。②旧秩父セメント跡地の有効活用について。③旧秩父東高等学校の記念館、格技場、体育館が有効活用できなかった理由について。④平成23年1月18日に申し入れた「市民会館については(株)太平洋セメントが所有する第一プラント跡地が望ましい」についての再確認。⑤本庁舎は現在の場所に建設するのが望ましい。以上の5つの諸点について意見を付し、同日、市長へ申し入れ書を提出した。今後、本委員会では、市長を中心とする推進本部会議や、市民会議と連携をし、市役所本庁舎等の規模・場所といった建設具体案について、今後協議していく。



市民会議との懇談会の様子

一般質問

秩父市節電対策事業の検証

市民クラブ 江田 治雄

問 春の大震災による原子力発電の被災で、電力の供給不足による計画停電が実施された。全国民が節電意識を持ちそれに協力した。市でもいち早く節電対策本部を立ち上げ対応してきた。

答 具体的な対策と、要した費用、達成目標と成果は。さらに恒久的な対策はどうするのか。

答 全庁を挙げて取り組んできた。ゴーヤ・アサガオをプランターに植えてグリーンカーテンを作り室温を下げる取り組みをした。しかし、気候の影響で予想以上にツルが伸びなかった。あまり効果が無かったように思える。全体の費用については58万円で、プランター・ネット・種・培養土を購入した。目標数値は、昨年と比較して15%の削減目標とした。しかし、6月、7月共に目標を達成できなかった。夏の最盛期の8月は17%と目標を達成した。

水道・下水道等の施設は、従来から強力で節電対策を講じてきた。庁舎・学校等の施設も職員と市民が一丸となって取り組んだ成果と思う。今後も強力で推進していく。※私は、恒久的な対策として、建

物の南側へ落葉樹の植樹を提案した。それが節電につながり、さらには二酸化炭素吸収、地球温暖化防止等の提言をした。



アサガオのグリーンカーテン

- ◎ 市民クラブの政策提言の確認
- ◎ 秩父市の危機管理について
- ◎ 公共施設のバリアフリー化
- ◎ 部署の移動について

市政は風化していないか

市民クラブ 富田 俊和

問 現在のような経済不況の中で市民は失望感に陥っている、市長は秩父市のリーダーとして今、何をなすべきか。また、今の久喜政権は民主党政権に似ている。重要な案件については、より一層真剣に考え決断してほしい。

答 職員が知恵を出しあい統合し、地道に進めていくことが大切で、その結果、行財政、医療費、給食費などの改革に手を打つことができた。今後は、本庁舎等建設への取組、地域包括医療等の実践、山を蘇らせる仕組みづくり、観光資源等の充実、この4つを23年度の最重点事項として取組んでいく。

● 観光行政とまち興しについて

問 情報発信の効果よりもその土地で暮らす人達が仲良く楽しく生活していれば、人は自然に集まると思うがどうか。

答 また、秩父夜まつりの仮設トイレは、水洗化したほうがよいと思うがどうか。

答 人こそ観光資源という言葉には同感で、常々「人」に目を向けた観光振興に取り組んでいる。

仮設トイレの水洗化については、一部実施しているが多大な費用がかかるので現在のところ、検討していないが、定期的な清掃を行い現在のところ苦情をいただいてない状況である。

● 道路整備について

問 視目坂下交差点と、お花畑通線と県道との交差点は、緊急に整備する必要があると思うがどうか。

答 最重点課題として位置づけ、早期解決できるよう相手の立場に立ち誠意をこめ交渉を重ねていく。

議会インターネット録画中継

平成23年6月定例会から、インターネットによる議会の録画中継を開始しました。本会議の初日(議案説明等)、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日(採決等)の映像を、秩父市のホームページから見ることが出来ます。または、「秩父市議会インターネット中継」と検索して、ぜひご覧ください。

一般質問

学校教育について

問 小中学校の統廃合の進展は。

答 特になが、調査研究する。

問 中学校の武道の必修化とは。

答 来年度から全ての中学校において柔道または剣道に取組む予定。

問 学力テストの実施状況は。

答 今年度は震災の影響で中止。

問 平成22年度の進路状況は。

答 全体の進学率は84%。秩父地域の高校への進学率は66%だった。

問 教育委員会委員選任の基準は。

答 年齢・性別・職業等に偏りがないように配慮し、委員のうちに保護者である者が含まれる。

問 秩父市立病院について

問 前年度決算赤字化の要因は。

答 医療収益が増加したこと、定住自立圏による財政支援を受けられたこと、費用削減の努力など。

問 循環器内科の状況は。

答 患者数が増加している。

問 森林・林業について

問 「秩父市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」とは。

答 市有施設等における秩父地域

産木材を利用した木造・木質化等を推進する方針である。

問 「森林オーナー制度」とは。

答 市と都市住民が契約し、木材売却時に収益を折半するが、元本割れ分配となるが、理解された。

問 吉田地域問題について

問 一本杉峠の状況は。

答 道路開削促進期成同盟会が5年半ぶりに再開したこともあり、進展させたい。

問 東日本大震災において市役所および市民会館が被災し、応急危険度判定士により、「要注意」という診断がされた。応急危険度判定士の役割について。

答 地震により被災した建築物について、その後の余震等による倒壊の危険性等、人命に係る二次災害を防止することを目的としている。外観・内観の調査可能な限られた範囲内で沈下や傾斜、構造の被害等を目視により調査する。そして、判定基準にしたがって「危険」「要注意」「調査済み」の3区分で判定し、ステッカーに記載し外部より見やすい所に貼り、注意喚起を行なう。

問 飯能市においては、相当数の建築物が被災し、二次災害の恐れがあると判断した時には、市長は判定実施を決定し、判定本部を設置し、その他必要な処置を講じるという「被災建築物応急危険度判定要綱」が整備されている。秩父市の現状はどうか。

答 現在、当市には、要綱は整備されていないが、今後、整備して行きたい。

問 応急危険度判定士と、地域の

市民クラブ 落合 芳樹

応急危険度判定士について

市民クラブ 木村 隆彦

問 連携について。

答 震災により多くの建築物が被災した状況においては、効率的に業務を行うためには、地域組織と相互連携を図りながら対応していく体制作りを検討する必要があると考える。



公共建築物の木質化の事例「秩父消防署東分署」



埼玉県被災建築物応急危険度判定士登録証

◎学校教育について
◎定住自立圏構想について

一般質問

ご当地ナンバー制度の導入は

市民クラブ 笠原 宏平

問 地域の個性を売り出している市町村が多くなっている中、50ccの原動機付自転車に各行政で作成したデザインのナンバープレート装着する「ご当地ナンバー」制度がある。秩父市では秩父夜祭がユネスコ無形文化遺産に登録申請している。そこで、夜祭の屋台をデザインしたナンバープレートのバイクを走らせ、動く広告塔として市民の皆さんで、ユネスコ登録に向けて盛り上げるのに最適と思うが、市の考えは。

答 秩父市では、平成20年度に検討した経緯があったが、費用対効果を勘案し見送られた。しかし、今後、観光振興等の政策的な面で、有効と認められる場合には、改めて検討したい。

戸別合併処理浄化槽管理について

問 清流荒川の源流に位置している秩父市は、きれいな水を守る使命があると思う。浄化槽の管理状況や業者の現状は。

答 戸別合併処理浄化槽の市町村設置型は、秩父市内に1,119基あり、保守点検および法廷検査



ご当地ナンバー

◎公衆トイレの管理について

放射性物質の調査

市民クラブ 荒船 功

問 3月11日の東日本大震災による福島原子力発電所の事故で、放射能汚染は広い範囲に及んでいる。8月11日の朝日新聞朝刊の特集記事、放射性物質の流れのシミュレーションによると、埼玉県には3月20日に気流にのってきた形跡がうかがえる。政府は10万ベクレル以下であれば、セメントで固めるなどの処理をすれば埋め立てが可能との見解を示しているが、秩父市の下水汚泥の状況は。

答 秩父市下水道の焼却汚泥については、5月段階では2万ベクレル以上だったが、徐々に減少してきている。しかしながら、焼却汚泥の埋立処分場の確保は難しい状況にあり、現在、汚泥焼却設備建屋内に厳重に保管して、国、県の動向を見ながら対応していく。下水汚泥（脱水ケーキ）については、太平洋セメント（株）の受入基準値500ベクレル以下を継続できれば安定的に処分できるので、今議会に補正予算を計上。

農産物の調査

秩父地域は米の刈り取りが9

月20日頃で、刈り取り後、即乾燥機にかける精米出荷地域がある。秩父地域の米の検査とその他の農産物の検査は。

答 米は9月8日に検査（結果は放射性物質は不検出）。その他の農作物については、県内を3ブロックに区分して毎週1回調査を実施。32品目356検体を調査。市は、ブルーベリー、原木シイタケ、茄子、小麦、二条大麦を検査。全て暫定基準値を下回っている。



保管してある焼却汚泥

一般質問

秩父が舞台のアニメ「あの花」

彩政会 新井 豪

問 全国の視聴率や注目度から「名作アニメ」となった「あの花」の関連イベント等は誘客の持続性を考慮して継続して企画すべきと思うが、観光客の現状と今後の展開は。

答 全国または海外から「マナーの良い」多くのファンが秩父市を訪れており、「住民税を秩父市に払いたい」との言葉もあるくらい観光客からも好評。あの花マップの発行、七夕イベント、聖地巡礼イベント等を開催し、声優のコンサート、龍勢イベントも予定しており、引き続きイベントを考案していく。

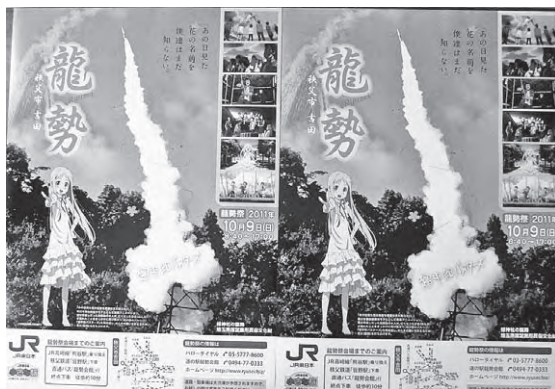
問 「秘密基地」の誘致、または常設のものを設置すべき。

答 誘致、設置も検討している。

● 「中央商店街」の復興

問 秩父神社周辺地域の開発計画についての現状は。

答 蔵づくり等の街並み再生やキナカ堂跡地利用等について、議員や地元住民に説明会を開催した。今後は事業の受け皿となる「事業協同組合」の設立を支援し、事業を推進していく。



「あの花」とタイアップした龍勢祭りのポスター

問 本町中町通り整備の進捗は。

答 移転補償は31件を契約済。用地取得率は約30%で、平成29年度の完了を目指している。

● 「サイクルシティ秩父」構想

問 以前に設置を提案した「電動自転車レンタル」の現状は。

答 観光協会が昨年8月に運営開始してから台数も増やして利用者も増え続けており、昨年月平均の12倍以上の利用がある。

うつ病対策について

公明党 福井 貴代

問 うつ病対策は自殺予防強化の上からも緊急課題といえる。うつ病の早期発見に「こころの体温計」(ストレスチェック)を、市のホームページに導入できないか。

答 すでに導入している自治体を調査し、自分でメンタルヘルスチェックができる方法等を研究する。

問 相談窓口と広報の充実は。

答 わかりやすい広報に努力する。

問 内科医と精神科医のネットワーク作りの必要は。また、慢性化したうつ病に対して効果のある認知行動療法の導入に対する見解は。

答 医師会等と協議し検討する。

● 節電対策にLEDの導入

問 LED照明のリースや分割払い方式を活用して、学校や公共施設の節電対策に、LED照明をレンタルで導入しては。

答 LED照明をリースで導入することは、莫大な初期費用を発生させない効果的な方法である。LED導入にあたっては、リース・買取取り・ESCO事業など、効果的な方法を調査研究していく。

● 事業継続計画の策定について

問 地震のような大規模災害等、不測の事態が発生しても、行政機関が重要事業を継続できるように、事前に立てておく事業継続計画(B CCP)の策定について見解は。

答 大規模災害等の発生時における対応マニュアルは未整備であるが、先進地等を参考に研究する。



◎児童虐待について
◎視覚障がい者の情報バリアフリーに音声コードの活用

一般質問

福島原発事故に関連して

日本共産党秩父市議団 新井康一

●福島原発事故に関連して

問 市では放射線測定器を購入したということだが、何台購入し、管理はどこが行っているのか。

答 2台購入し測定できる環境を整え、危機管理課が管理している。

問 校庭の隅や排水溝付近、雨どいの下など、雨水の集中する所、さらに通学路まで広げてホットスポットを探し出して対処することが大事だが、そういうことはできないか。

答 公立幼稚園、小・中学校では校庭の中心付近を継続的に測定・公表しているが、学校敷地内の側溝、砂場や遊具付近も測定し、学校便りなどで公表したい。

問 一般家庭でも同様に雨どいの下など放射線の高いところがあると思う。また内部被ばくの危険性についても特に幼児や妊婦については感受性が高いので注意を喚起してほしい。

答 内部被ばくの危険性など必要な情報は、情報収集をすすめ、随時広報等を通じて周知を図ってきたい。

問 市で購入した計測器を希望する市民が使えるように体制をと



市内にも放射線量の異常に高い所がある

のえてほしい。

答 当面は市民から要望のあった箇所について職員が出向き、可能な限り計測していきたい。

●防災対策について

問 食糧などの備蓄の状況と備蓄場所の状況はどうなっているか。

答 乾パン・アルファ米・毛布・懐中電灯・紙おむつなどを6箇所の防災倉庫と22か所の市の施設に確保しており、広報等を通じて市民の皆さんに周知していきたい。

市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

●住宅リフォーム助成制度

と小規模事業者登録制度の改善に向けて

問 6月議会で提案した制度改善について実施した内容を示して欲しい。

なおリフォームについては21年度、22年度実績値562件を推算し改めて試算し直したところ、上限20万円定率10%補助が実績値より安く実施でき、加えて10%定率助成該当者が全体の86.12%となり、助成額の公平性が格段に向上することも分かった。改めて制度改善を求めたい。

答 小規模事業者登録制度については、指摘を受けて要綱を簡潔で分かり易い表現に改めた。

住宅リフォーム助成制度については、再度詳細な提案を受け、前向きに検討していく。

●市役所本庁舎建設問題について

問 6月議会では「再度の調査は考えていない」と言うことだったが、今回の震災でどれだけのダメージを受けたのかの「被災度判定」と言った検査は不可欠ではないか。改めて聞きたい。



聖地公園の合葬墓

●聖地公園の管理運営について

問 永代供養合葬墓の設置を望む声が多いが、どう考えているか。

また、行灯祭りの献灯管理はどのようにされているのか。

答 永代供養合葬墓については、今後調査研究していく。行灯祭りでの献灯未設置の苦情が数件あった。今後配置人員を増やして設置場所の確認を十分行えるよう対策を講じていく。

一般質問

豊かな長寿社会実現のために

公明党 大久保 進

問 認知症予防のために簡易聴覚チェッカーを使って難聴検査をする事が有効と思うが、難聴検査を追加する考えはあるか。

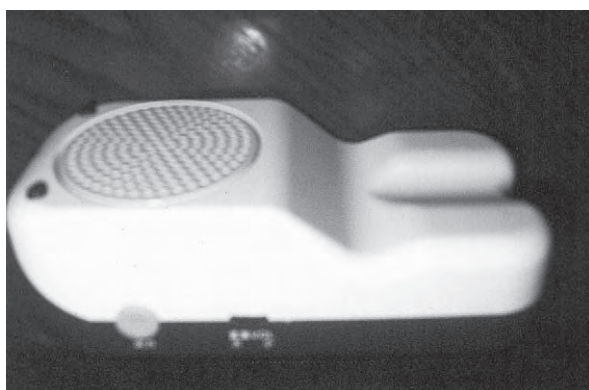
答 難聴の高齢者は周囲とのコミュニケーションも大幅に減ってしまい閉じこもりや認知症に繋がる大きな要因となってしまう。そのため、高齢者を対象とした様々な介護予防事業を地域包括支援センターや保健センターにおいて開催している。その場を活用して参加者を対象に聴力測定機を利用したチェッカーを今後検討していく。

問 家庭介護用品支給事業のカタログの掲載のものとでないと支給できないか。

答 当事業は年度末に次年度の物品契約を行うための見積り合わせを行うっており、1年間は契約上の商品のみに限られるが、毎年、支給対象者の希望した商品を取りまとめるので、支給対象者から要望があれば次年度に反映することが可能である。

問 救急医療キット配布事業が補正予算で計上されているが内容は今年度新設された県の補助制

度で、1セット450円でプラスチックの容器に内容を書いたメモを入れておくものである。玄関と冷蔵庫に救急キットの所在がわかるようにマグネット式で貼りつけるものが1セットになっている。なお、対象者は、単身および高齢者夫婦で配布については、民生委員児童委員協議会にご協力をいただき事業を実施していく。



簡易聴覚チェッカー

◎ AEDの設置場所の徹底
◎ 姉妹都市災害協定について

道路改良及び有害鳥獣駆除について

彩政会 逸見英昭

● 道路改良について

問 県道吉田久長秩父線と県道皆野荒川線の交差点は事故が多発し地域住民から早期の改修が要望されているが、現況はどうなっているか。

答 道路管理者である秩父県土整備事務所聞いたところ、交差点改良と前後左右一部の拡幅を行い信号機を設置する予定であり、今年度から事業に着手したとのことである。

問 大田539号線の改良計画は、住民や学童の通行に支障をきたしている現況ということなので、要望書を提出していただきたい。

● 有害鳥獣駆除について

問 農業者や一般の人が出入りする頻度の高い場所での猟銃を使用した駆除は危険が大きい。安全な駆除の方法が考えられてよいと思うが。

答 鳥獣の種類や地域特性等を考慮し、区域周辺の安全に配慮しながら実施している。

問 効率的な駆除の実施に向けた取り組みについて。
答 今後も、農作物への被害防止・



学童の通行に支障をきたしている市道大田539号線

軽減という目的に沿って、有害鳥獣捕獲で許可された銃器あるいはワナといった道具を使い、地域の安全に配慮しながら効率的な捕獲を進めていく。

一般質問

市民満足度調査結果の分析と活用

金崎 昌之

問 満足度の平均値が第1回に比べて下がっているが、その要因は。

答 経済状況など社会的要因が大。地域・年代別分析等、今後の更なる分析や活用は。

問 年代別分析は今後実施したい。また、調査データは今後実施の施策評価にも活用を予定している。

●雇用・企業立地の促進

問 雇用促進の具体的取り組みは。

答 企業支援・誘致に特化した「企業支援センター」や、雇用・就労施策を一体に実施する「ジョブプラザちちぶ」の開設、県の緊急雇用創出基金を活用した積極的な失業者の雇用創出を図っている。

問 県が圏央道以北の国道299号・140号沿いに企業誘致を図る方針を出したことを踏まえ、秩父市での企業誘致場所の確保は。

●小中学校施設・設備の充実

問 プールや部室の無い中学校が存在するが、その対策は。

答 水難訓練等も小学校のプールや体育館を活用し、不都合が生じないよう対応している。部室は、



満杯のみどりが丘工業団地

校舎内の空きスペースを探す。
問 郡内各町で全普通教室にエアコンが設置されるが、秩父市は。

●学校メンタルヘルス対策の充実

問 臨床心理士への相談回数が平成20年48回、平成21年82回、平成22年220回と激増し、相談体制の充実が求められている。

答 財政当局とも相談し対応。

秩父市立病院小児救急について

彩政会 高野 宏

問 小児科医の確保により、市立病院で24時間救急体制と入院体制を確保してほしい。

答 現在、全国的な医師不足の中とりわけ小児科医の不足が著しく当院の小児科は、現在、常勤医師2名体制で診療を行っているが、2名とも県や大学医局の派遣人事に頼っている状況で、決して安定的とは言えないのが実情である。当院は、秩父地域で唯一、小児入院施設を有しており、小児医療に対する地域の期待が大きいのは十分認識しているが、小児科医の増員は厳しい状況であり、小児救急体制の充実は今時点では難しい。しかし、引き続き小児科医の確保に努め、医師会の先生方はじめ、県や大学病院との連携を密にし、さらなる充実に努めていく。

●中央公民館について

問 中央公民館における震災以降の状況および現状と、今後の公民館活動の見通しについて。

答 東日本大震災により、中央公民館では、講座、クラブ活動が休止となり利用者の皆さんに、ご不便をおかけしたが、会場や活動回



秩父市立病院の小児科

数を変更し、5月より活動を再開している。
今秋には、歴史文化伝承館内の事務室の移転を行い、中央公民館の再開に向けて努力していく。

◎東日本大震災について
◎町会運営について

一般質問

秩父市の児童福祉・障害者福祉についての方針

日本共産党秩父市議団 山中 進

問 国の責任放棄「地域主権改革一括法」による市の考え方は。

答 国の方針が、全国一律の最低基準を解体し、福祉施策など地域格差を生むことにつながるのではないかと。憲法に定められた国の責任を地方に転嫁させようとするものであり、地方自治の根幹を揺るがす大きな問題をはらんでいる。財源についてもあいまいさがのこり、危惧するところもあり、納得できるものではない。この地域主権改革一括法による秩父市としての児童福祉・障害者福祉について今後のような考えがあるか。

問 必要となる条例制定や権限移譲に伴う体制整備を図り、国に適切な財政措置を図るよう要望していく。

答 子育て支援について市の考えについて。

今年度から開設した各園の調査をしたのか。また、働く若い人たちの子育て支援についてこれ以上負担を求めぬのか。また、良い保育をと、懸命に取り組んでいる保育所の経営を圧迫させる負担を求めぬのか。

安心して預けられ、働けるため

の子育て支援をおこなうのか、市の見解を。

答 延長保育の要求はこれからも増加すると、認識している。今後、延長保育実施状況を調査し、財政事情を考慮し「継続的」、「平等」に支援し充実していきたい。



目を輝かせ熱心に話を聞きいる子ども達

- ◎ゴミボックスの設置に助成を
- ◎市の施設の有効利用と窓口一本化
- ◎市道について

総合振興計画の成果と今後の計画を問う

彩政会 金田 安生

問 合併直後に作成した第1次総合振興計画施工後5年が経過した合併の成果と問題点について聞きたい。

答 総体的には当初計画した内容に沿って順調に実施しているが、一部の計画は予定通りに進行していないものもある。現在主要125件を取り上げ、事業の成果を検証中である。計画立案時以降に経済情勢も大きく変化し、市を取り巻く状況も変化しているところから、思ったように計画が執行できない案件もある。実施状況の検証と経済状況を勘案し、柔軟に対応していきたい。

問 振興計画は人口減少を予測しながら、対応すべき施策が無い。市民に夢と期待を与える今後の政策について市長の考えを聞きたい。

答 人口減少は秩父市の活力を奪うと共に、将来の財政にも多大な影響を与える重大な問題であると認識している。企業育成と誘致に力を入れ、若者が秩父に定着し生活できる雇用環境の整備が、最優先課題と考え努力している。市長としては、市役所の整備、地域包括ケアの構築、



日本ジオパーク認定をテコに観光振興が期待される遺跡

山を蘇よみがえさせる施策、観光振興の4点を重点に、安全安心・地域活性化に向け、秩父地域全域の活性化を目指して行きたい。

一般質問

東日本大震災における対応、支援について

新風上林 富夫

問 内部被ばく牛肉や埼玉県産茶から規制値を超えるセシウムが発見されたこと、米や野菜の産地偽装も聞いていることから、秩父市も学校給食食材を独自に検査すべきと思うが考えを聞きたい。

答 教育委員会としては、流通している農作物は詳細な検査を行っていることから安全であると考えている。付着した放射性物質は洗浄により、かなり除染できると聞いている。

問 5百数十の自治体が、がれき処理に協力することだが、秩父市の考えはどうか。また、このがれき処理に関することが雑誌に掲載され市役所に苦情の電話などがあつたというが現状を聞きたい。

答 4月に環境省から県を通じ秩父広域組合に問い合わせがあり、放射性物質の付着していない廃棄物については受入可能であることと回答した。その後、8月、雑誌に汚染がれき拡散と題して秩父広域組合の名前も掲載されたため、放射性物質を含むごみ処理を行うものと誤解した市民から、秩父市に対し照会や苦情が相次いだ。

問 水道料金等滞納整理業務を民

間に業務委託しているが滞納件数金額はどのくらいか。

答 平成22年度末における水道料未収金額は3,621万円、未収件数は6,360件となっている。

プラントナンバー	プラント型式	格納容器型式	運転開始	定格電気出力	主契約者			建設工事費
					原子炉	タービン発電機	付属設備	
1号機	BWR-3	Mark I	1971年3月26日	46.0万キロワット	GE	GE	GE	約390億円
2号機	BWR-4	Mark I	1974年7月18日	78.4万キロワット	GE	GE	東芝	約560億円
3号機	BWR-4	Mark I	1976年3月27日	78.4万キロワット	東芝	東芝	東芝	約620億円
4号機	BWR-4	Mark I	1978年10月12日	78.4万キロワット	日立	日立	日立	約800億円
5号機	BWR-4	Mark I	1978年4月18日	78.4万キロワット	東芝	東芝	東芝	約900億円
6号機	BWR-5	Mark II	1979年10月24日	110万キロワット	GE	GE	東芝	約1750億円

福島第1原発発電設備概要

◎市外からの土砂等の放射線検査を実施すべきではないのか
◎公用車の台数、車検、点検などについて

ありがとうございました

定例会本会議開催日に、議長席脇机に盆栽を置きました。その盆栽を提供していただいた方は、秩父市吉田、上の原町会の島崎弘さんです。ありがとうございました。



(9月定例会)

議会用語解説

●ヒアリングとは

市当局が、一般質問の趣旨を正確に把握するため、事前に、議員に質問の趣旨を確認することです。スムーズな進行および、一般質問に対して適切な答弁を得ることを目的として、秩父市議会では、ヒアリング制を実施しています。

編集後記

9月定例会は厳しい残暑の中8月30日から9月15日の日程で行われました。

今、原発の風評被害で、苦しんでいる方がたくさんいます。無関心は、心の死である、他者の苦しみを見て見ぬふりをすることによって、自分の心の大切な何かを、マヒさせ、死に至らしめているのだ。という言葉があります。食物に限らず、大文字焼に使う薪、復興支援と銘打った花火大会での花火等、放射能をもちこむなどか、非常に残念な話を数多く聞きます。被災地だけの問題でなく日本全体の問題として、落ち着いて行動したいものです。

市民の皆さん、市政に関心を持ち、ぜひ議会の傍聴、インターネットでの視聴をお願い致します。

平成23年9月 大久保 進 記

編集委員

委員長	江田 治雄
副委員長	新井 豪
委員	上林 富夫
”	木村 隆彦
”	山中 進
”	大久保 進